



“地域のことは地域で考えよう”

2014年9月25日

## おきぎん県内景況・速報 2014年8月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高も前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年8月分)



◎概況：県内景況は、拡大している。

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

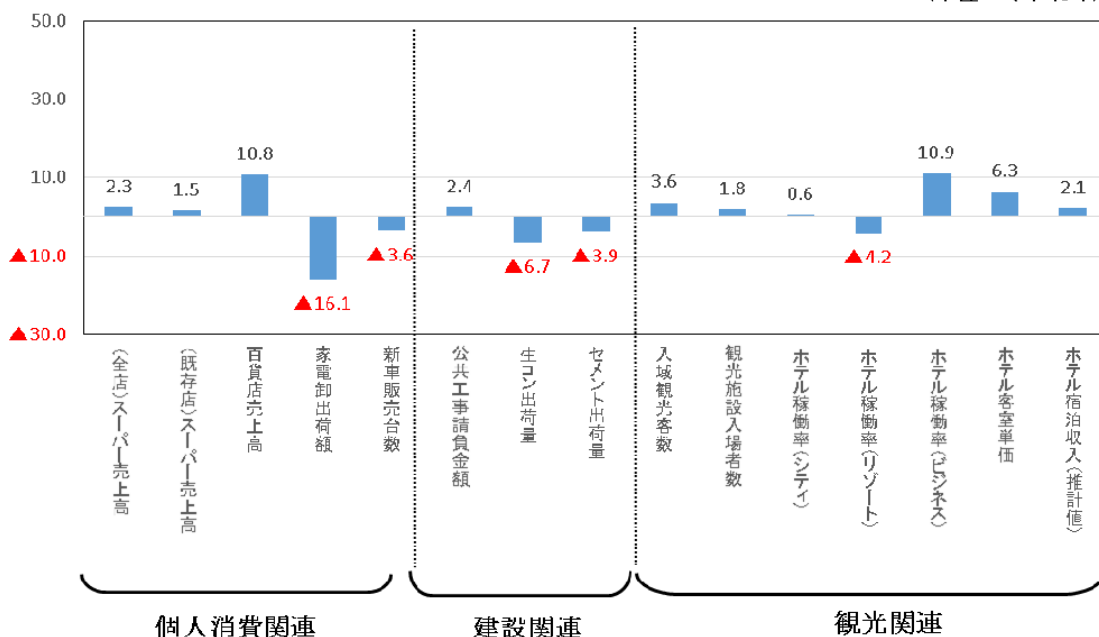
建設関連では、公共工事請負金額は、昨年の市町村発注による大型工事の反動などがみられたものの、国発注工事増などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに下回りました。

観光関連では、入域観光客数は23ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らぎつつあり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から7ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位:%、ポイント)



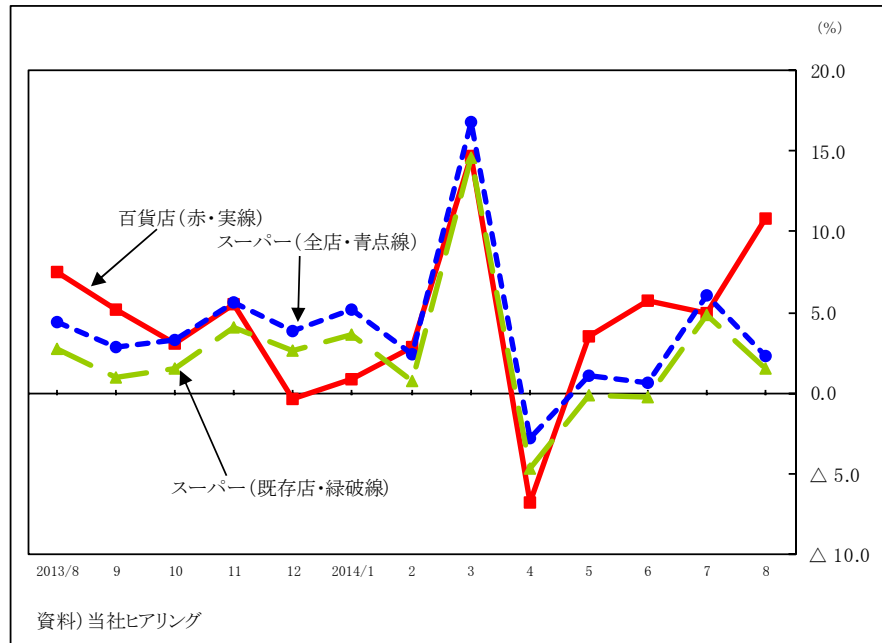


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2013/8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8

注) 前年同月比



資料) 当社ヒアリング

8月の個人消費関連では、スーパー売上高は、「全店ベース(前年同月比 2.3%増)」が4ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウェイトの高い「食料品(同 2.1%増)」は、旧盆時期(昨年:8/19-8/21 今年:8/8-8/10)が早く、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったものの、売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.5%増)」では2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 1.1%増)」は、青果の一部(キュウリ・キャベツ・レタス・トマトなど)に商品価格高騰がみられたものの、旧盆需要などにより売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 3.2%増)」は家電全般に消費税増税の反動減がみられるものの、白物家電(洗濯機)の売れ行きが堅調だったことから前年同月を上回りました。また、「衣料品(同 1.9%増)」は、セールなどの販促効果により夏物衣料の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。

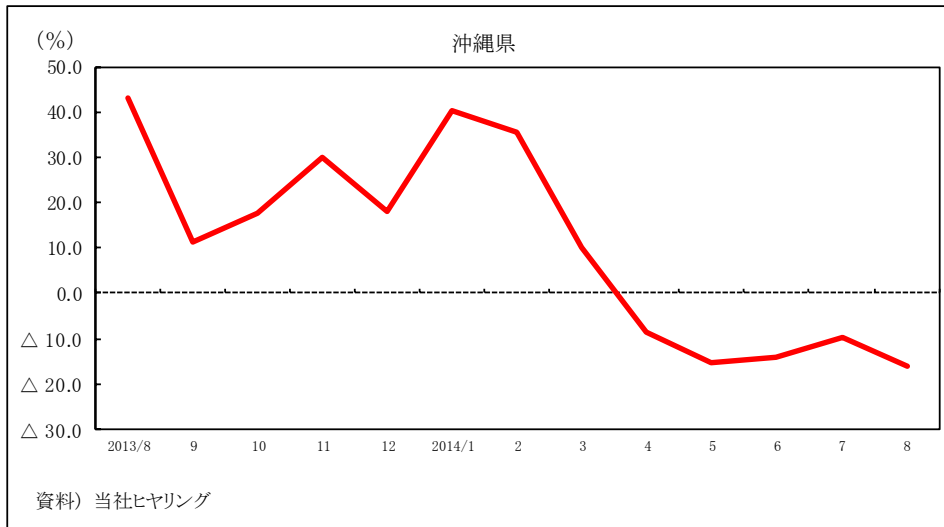
百貨店売上高は、「衣料品」や「身の回り品」の売れ行きが好調で、4ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 10.8%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 19.9%増)」は、セールによる集客効果などから「紳士服(同 64.1%増)」「婦人服(同 9.7%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「身の回り品(同 61.1%増)」「雑貨(同 28.8%増)」も、セールによる集客効果などにより、売れ行きが好調で前年同月を上回りました。

一方、「食料品(同 17.1%減)」は生鮮(肉・魚・青果)の売れ行きが堅調だったものの、旧盆時期(昨年:8/19-8/21 今年:8/8-8/10)が早く、一部のお中元ギフト商品需要が7月に前倒しとなったことから前年同月を下回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位:%	
沖縄県	
2013/8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2
7	△ 9.6
8	△ 16.1

注) 前年同月比



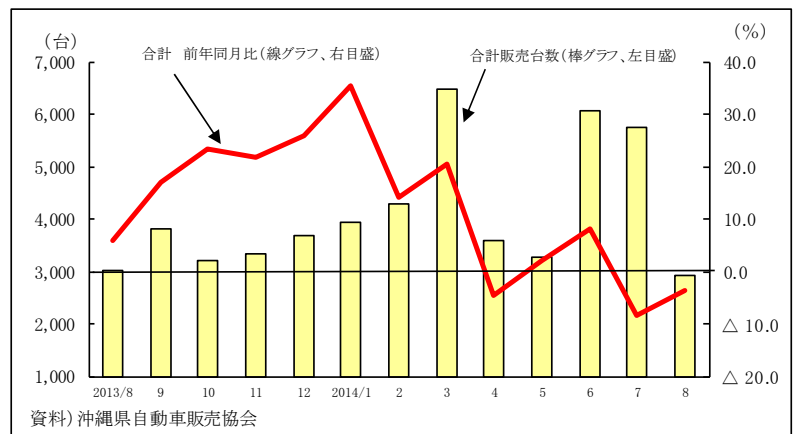
**家電卸出荷額**は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続く中、太陽光パネルの売上減少なども加わり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 16.1%減)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 60.7%減)」が接続保留に伴う売上減少の影響などから、前年同月を大きく下回りました。また、「エアコン(同 20.1%減)」「冷蔵庫(同 5.7%減)」なども前年同月を下回ったほか、「テレビ(同 5.8%減)」も 4K テレビの需要に落ち着きが見られたことなどから前年同月を下回りました。一方、「洗濯機(同 11.3%増)」は、例年秋口に予定される新商品の販売を前倒した影響などから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから、前年同月を下回る。

単位:台,%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0

注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。



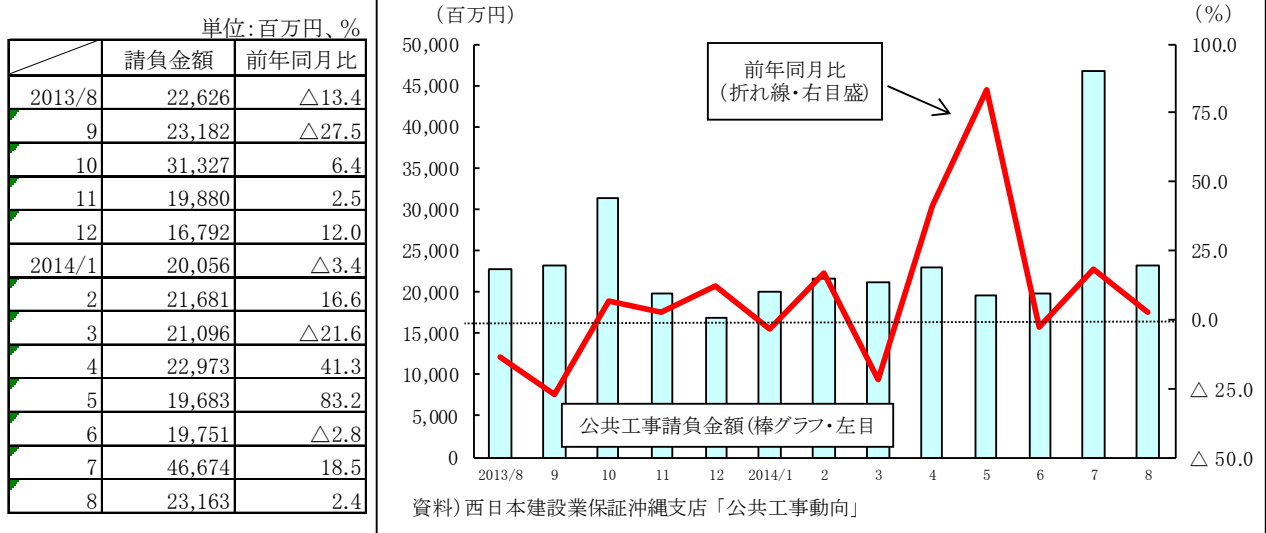
**新車販売台数**は、全体で 2,914 台(同 3.6%減)となり、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などから2ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別にみると、「普通乗用車(同 1.8%増)」はHV車需要などにより販売台数が伸び前年同月を上回ったものの、「小型乗用車(同 4.7%減)」「軽乗用車(同 3.0%減)」ともに2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



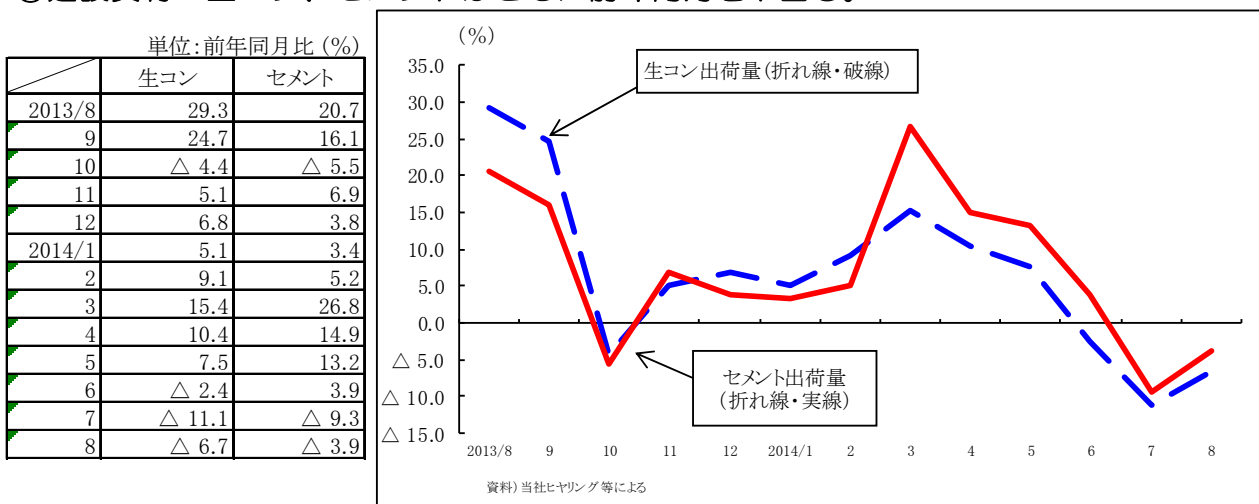
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



8月の公共工事請負金額は、前年同月比2.4%増の231億6,300万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同86.1%増)」は湾港護岸工事や高架橋関連工事、「沖縄県(同3.1%増)」は中部での浄水場関連工事などの大型工事、「独立行政法人等(同182.0%増)」も前年同月を上回りました。一方、「市町村(同23.4%減)」は昨年あった豊見城市での市民体育館建築工事の反動で前年同月を下回ったほか、「その他の公共的な団体(同17.3%減)」も下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

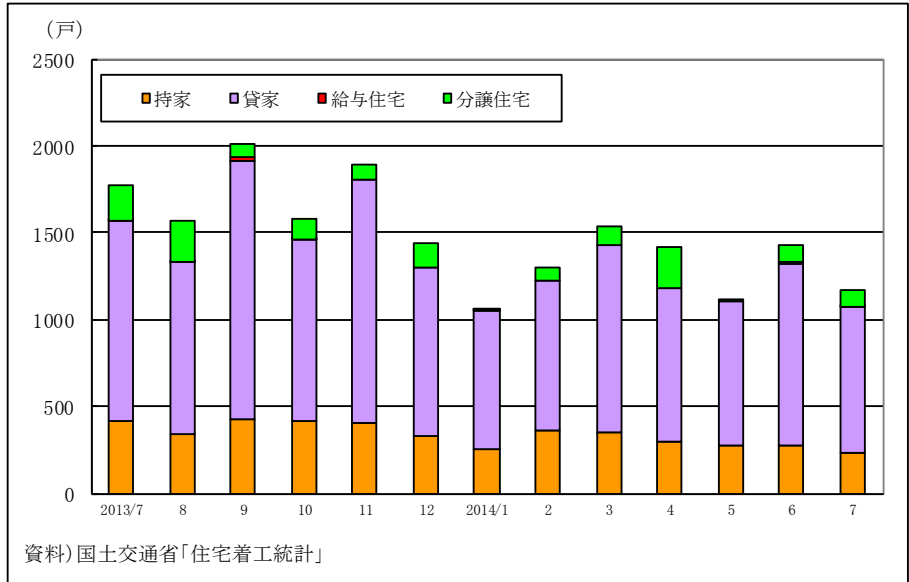


(注)セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は6.7%減少し、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より8.7%上回ったものの、民間工事向け出荷は13.3%下回りました。**セメント**の出荷量は3.9%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】 住宅投資 (7月分) …着工戸数は前年同月を下回る。

	単位:戸、%	
	着工戸数	前年同月比
2013/7	1,777	32.2
8	1,565	28.8
9	2,014	72.4
10	1,580	29.2
11	1,895	60.1
12	1,437	49.5
2014/1	1,065	△1.7
2	1,298	11.7
3	1,540	39.6
4	1,418	36.2
5	1,116	25.0
6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0

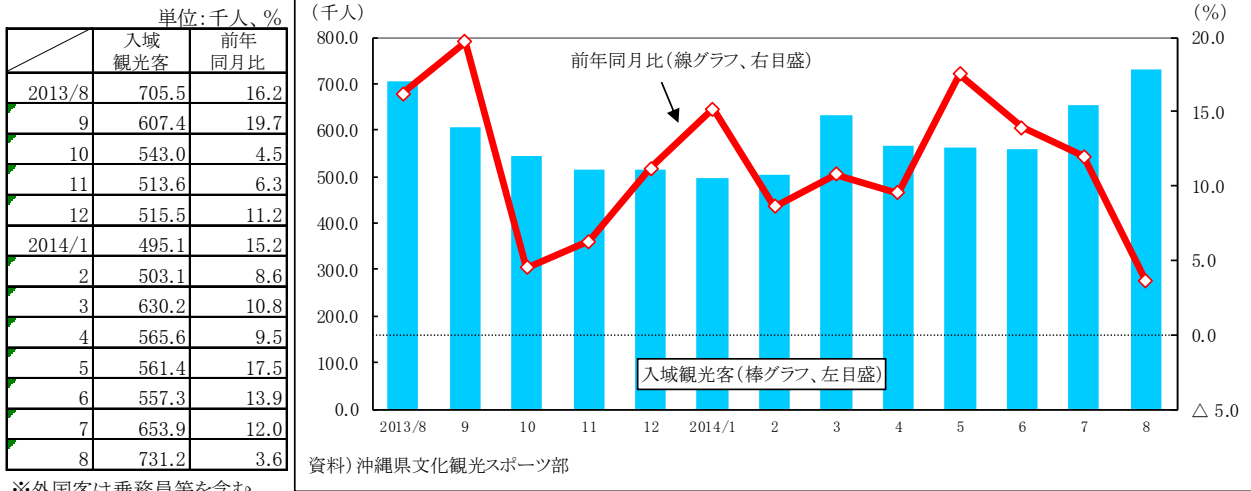


新設住宅着工戸数 (7月)は、全体で前年同月比 34.0%減の 1,172 戸と 6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同 26.5%減)」や「持家(同 45.2%減)」などが前年同月を下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…23ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

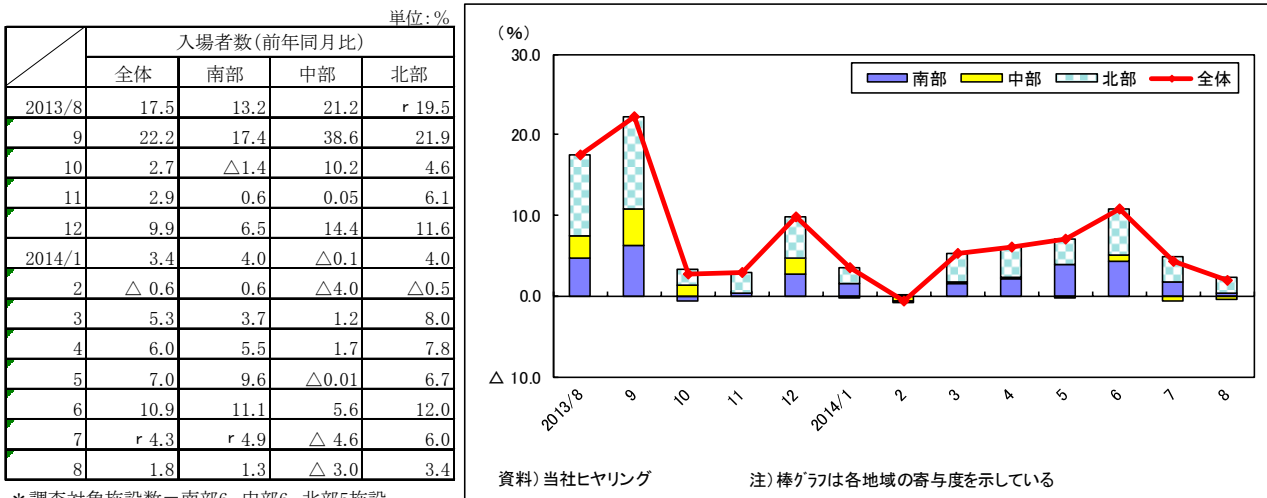
8月の入域観光客数は、25,700人多い731,200人(前年同月比3.6%増)となり、23ヵ月連続で前年同月を上回りました。(8月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同0.3%増)」は647,000人と上旬に台風の影響があったものの、航空路線の拡充(石垣路線、LCC)効果等により、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同39.4%増)」は、84,200人と13ヵ月連続で前年同月を上回りました。夏場の旅行需要の高まりや、航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数増加などにより、空路・海路ともに好調であったことから前年同月を上回りました。「台湾(同32.1%増)」「韓国(同38.9%増)」「中国本土(同88.2%増)」「香港(同17.0%増)」

※乗務員等を除く2014年8月実績＝全体720,600人(同3.2%増)、外国客73,600人(同38.9%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…6ヵ月連続で前年同月を上回る。



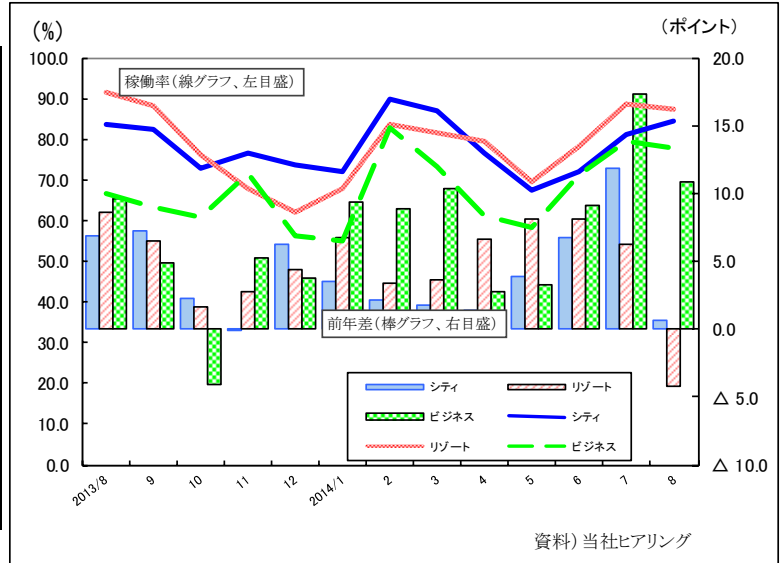
\*調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より1.8%増加(6ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同1.3%増と10ヵ月連続、北部は同3.4%増と6ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同3.0%減と2ヵ月連続で下回りました。

### ③ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは前年同月を下回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

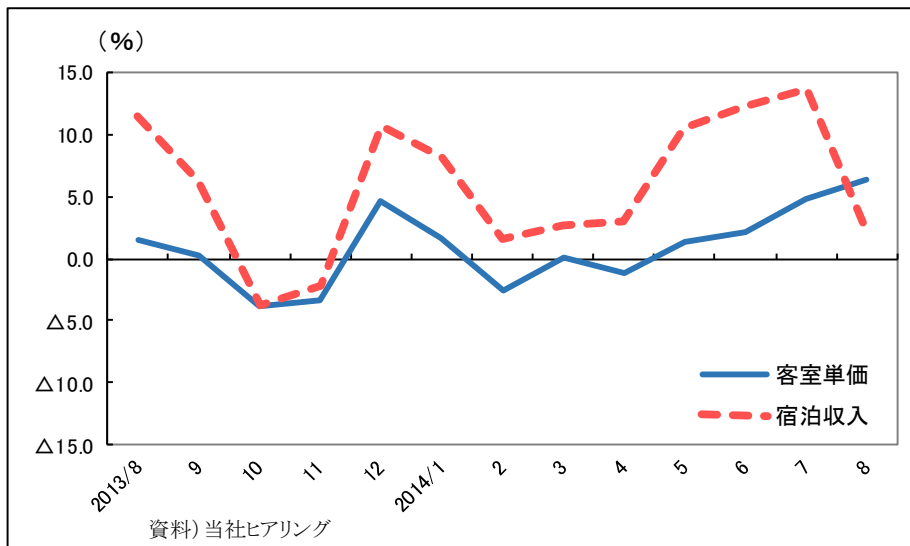
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが84.4%と0.6ポイント上昇(9ヵ月連続)、リゾートホテルが87.5%と4.2ポイント下落(20ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが77.6%と10.9ポイント上昇(10ヵ月連続)しました。

### ④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/8	r 1.5	r 11.4
9	0.3	6.3
10	△ 3.8	△ 3.8
11	△ 3.4	△ 2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△ 2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△ 1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

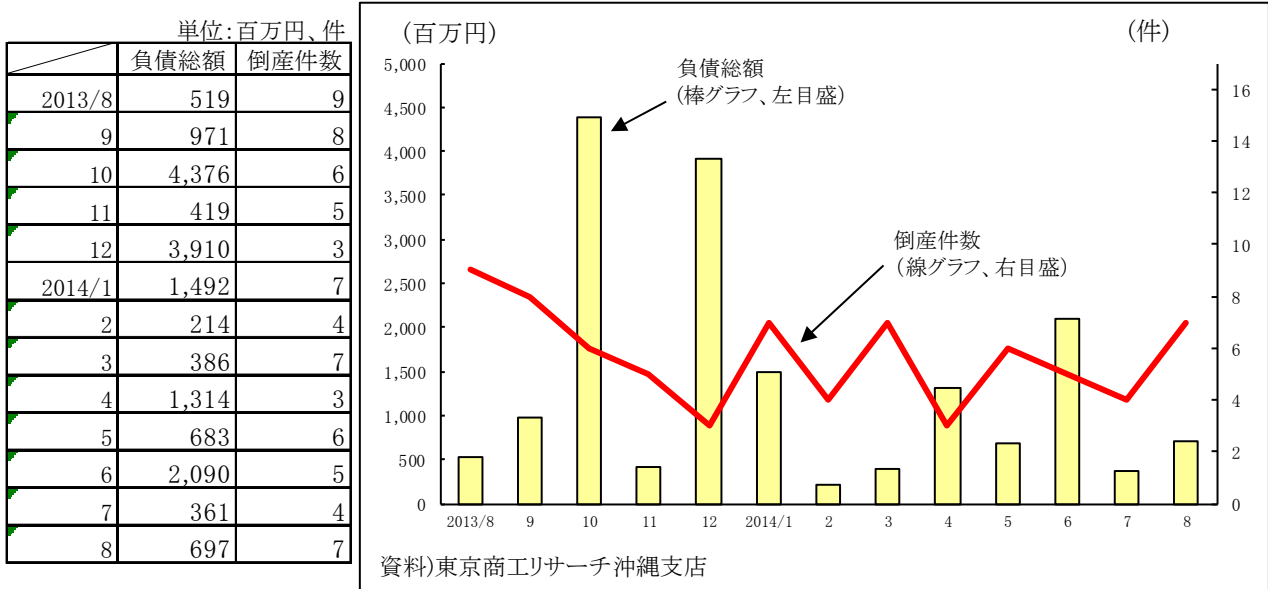
ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比 6.3%増と前年同月を上回ったほか、宿泊収入も同2.1%増と前年同月を上回りました。





■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

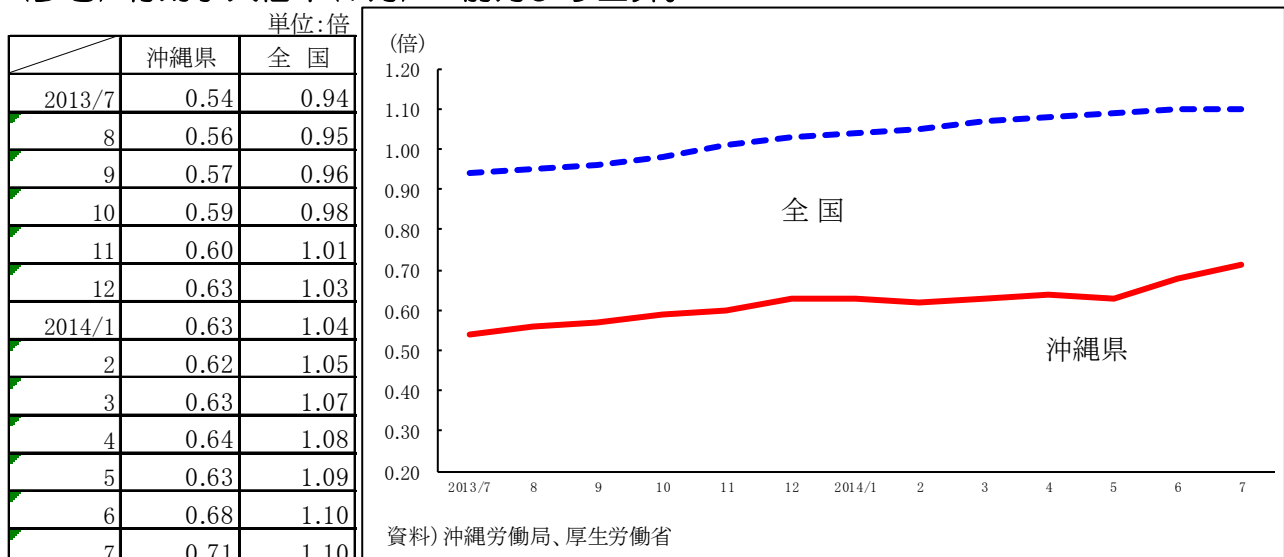


8月の**企業倒産件数**は、7件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産1件)発生し前年同月より22.2%減少し、負債総額は6億9,700万円と34.3%増加しました。



【参考】雇用関連: (やや良い)

(参考) 有効求人倍率(7月) …前月より上昇。

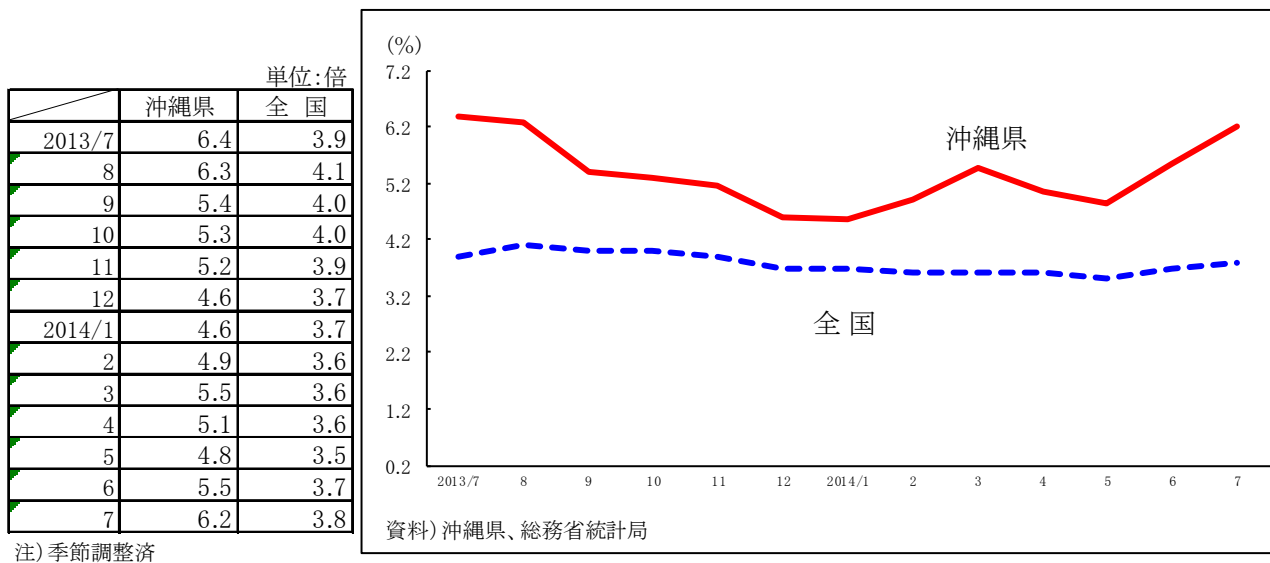


注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法II (X-12-ARIMA) による

7月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.9%増の20,341人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.9%減の28,620人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.71倍となり前月より0.03ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率…前月より上昇。



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値)は、6.2%となり前月より0.7ポイント上昇しました。